

## 地域未来創造会議（菊池地域）議事概要

- 1 日時 令和8年2月16日（月）15:30～17:35
- 2 場所 国際ホテル菊池笹乃家 芙蓉の間
- 3 出席者
  - (1) 市町長  
江頭菊池市長、荒木合志市長、金田大津町長、吉本菊陽町長
  - (2) 県議会議員（オブザーバー）  
前川議員、高木議員、中村議員、池永議員、斎藤議員
  - (3) 県  
[本庁]  
木村知事、富永企画振興部長、藤由市町村課長 他  
[県北広域本部]  
永友本部長、高濱総務部長、作田農林水産部長、坂口土木部長 他
- 4 議事内容  
会議テーマ「半導体関連企業集積に伴う広域的な課題への対応について  
（多文化共生の推進及び菊池地域の交通課題）」
  - (1) 県からテーマに係る取組状況の説明
  - (2) 市町長から
  - (3) 意見交換

### 概要

会議では、テーマに沿って取組状況や課題等について話し合われた。主な意見は次のとおり。

#### 1 多文化共生の推進

- ・ 地域の外国人向けの交流イベントやセミナーを企画するが、外国人の参加が少なく開催手法や情報の周知が課題。県から助言いただきながら取り組みたい。
- ・ これまで国際交流協会において公共施設等を活用し、地域の外国人との交流を行ってきたことで、一定の成果をあげてはいるものの、自治体単独の取組みに限界を感じている。県には台湾に加え、ベトナムなどアジアの他地域にも目を向けたインターナショナルマルシェの開催等の取組みを期待する。
- ・ 近年急増している民泊について、地域住民から不安の声があるため、地域住民と民泊事業者の相互理解が進むよう、県と連携して対応を検討していきたい。
- ・ 地域の外国人への情報提供について、各市町が個別に企業や農家等の就業先を通じて行っているが、必要な情報を確実に届けることが課題。菊池地域で共通する情報については各市町が連携して取り組めることもあるのではないかと。

#### 2 菊池地域の交通課題

- ・ 分散型サイエンスパークの実現には、拠点間のつながりが不可欠。特にJR豊肥本線の輸送力強化や二次交通の充実によるアクセス強化が重要。市町村を跨ぐ広域的な取組みを県が主体となって進めてほしい。
- ・ 渋滞解消に向けた国県道の早期整備と、中九州横断道路に関する今後の整備の見通しの共有をお願いしたい。また、観光振興を図るためには、空港からのアクセス強化が課題。引き続き、県と連携しながら進めていきたい。

- ・ 熊本都市圏都市交通マスタープラン（※1）の素案に記載されている公共交通施策と道路施策については、かねてより期待しており、実現に向けた検討を進めていただきたい。
- ・ コンパクト・プラス・ネットワーク（※2）の考えの下、駅を拠点としたまちづくりを進めており、引き続き、県と連携していきたい。
- ・ コミュニティバスや乗合タクシーの導入など、利便性向上に向けた施策に不断に取り組んでいるが、運転手の確保と利用促進が課題。

※1 県をはじめ、市町や関係団体で構成する協議会において策定される、熊本都市圏における将来の望ましい交通体系の実現に向けた中長期的な将来ビジョン。パーソントリップ調査などの実証的データを基に、現状の課題を的確に把握し、それらに対応するための交通政策の方向性を明示することを目的としている。

※2 行政、医療、福祉、商業などの生活サービス機能を一定の地域に集約し、それらを交通ネットワークで結ぶことで、生活の利便性向上と地域経済の活性化を図るというまちづくりの考え方。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と市町で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

## 1 多文化共生の推進

- （1） 外国人との共生推進本部の幹事会等を活用し、地域の外国人への対応に関する市町の課題や悩みを協議の上、市町の対応を後押しするような取組みを検討
- （2） 地域における外国人との交流促進に向け、県と市町が連携して広域的な取組みを行うことを検討

## 2 菊池地域の交通課題

- （1） 渋滞解消に向けたハード・ソフト両面の取組みの更なる推進
- （2） 交通渋滞と交通空白地域の解消に向け、地域公共交通に関する課題の整理や教育・福祉・観光など分野を超えた連携のあり方について検討

（以上）